

ウィークリーニュースレター12号 2025

< 記念日を申請する！ >

以前、記念日の話をしました。土用の丑の日にうなぎを食べる。節分になれば恵方巻。クリスマスはケーキ。とにかく日本人は記念日と食べ物の親和性が高い。そして見つけた、たい焼きの日が1月15日。正式には「くりこ庵・たい焼きの日」大手チェーン店のくりこ庵が申請したようです。あまり認知されていませんが・・・そして記念日のことを調べると費用は15万円。しかも1回のみで更新料はなし。この先10年20年と続けるなら安いかもと考えました。考えたのは大判焼の日です。

< 何月何日にしようか？ >

大判焼の日を考えると悩んだのがいつにするのか？まだ記念日がない1月2日と12月28日にするか？いや寒い日に作っても意味がない。暑い日にお店が潤ってほしい！やはり夏だな。ではいつにする？ふとSNSを観ると大判焼はなんて呼ぶのか？というツイートが伸びていることを発見。今川焼・回転焼・あじまん・御座候・太郎焼・おやき、とにかく呼び方が地方やエリアに寄ってバラバラでした。そして意外と盛り上がる(笑)じゃ何焼きの記念日にすればいいのか？とまた新しい悩みが。

呼び方が定まらない。この点からこんなダジャレを思いつきました。(ナニヤキ)の日として7月28日はどうだろうか？そして大判焼という言葉はなんとなく一番世の中に浸透しているはず。そこで、大判焼きの日を7月28日に制定してその日は何焼きかを議論してもらう日はどうでしょうか？日本記念日協会へメールで相談しました。すると日本記念日協会の人から電話があり「大判焼の日というのは審査が通らないと思います。理由は単体の単語だけでは乱立するため具体性のある文章でないとい今は通らないのです。お店の名前+大判焼とかにしないと難しいです」という回答でした。その時「くりこ庵・たい焼きの日」というのが思い出しました。そこで私は「では皆で議論する大判焼きの日」とかはどうですか？と聞くとそれならありかもと電話で回答を得ることができました。早速申請書を作成して提出です！

< 1回目は不採用 >

しかし電話で不採用のお知らせが来ました。最後に大判焼の日と明確に謳うと他の名前が割り込めないといひます。大判焼の日を前に出してはどうでしょうか？というアドバイをいただき申請し直しです。そこで

「大判焼の名前を皆で議論する日」(7月28日)で申請しました。すると3月12日記念日登録合格の通知が来ました！意外と簡単に、そして丁寧な電話対応までしてもらえます。メーカーや商社の皆さん！15万円で登録できる記念日プロジェクト、取り組んでみませんか？こんな形でお店をサポートしてみてもどうですか？次週は記念日に何をするのかを書きたいと思います！

< 3月の当選番号確定！！当選番号が5個です！ >

2022年3月からスタートした納品書番号のおみくじです！今一度、ルールのご説明。納品書の番号が抽選対象の数字です。下の番号と一致した場合、納品書の金額から10%オフします。自動的にオフはしません。お客様から「当選しました！」とメールか電話、LINEでご連絡をいただくと確定です。**申告の締切は翌月の1日が締め切りです。「3315」「3389」「3466」「3499」「3522」最後のチェックを忘れずに！！**



株式会社豊吉 LINE 注文アカウント



キッチンカー開業セミナー



豊吉公式 Twitter



株式会社豊吉ホームページ

2025年3月21日作成 作成者：豊吉正徳